

今回の「よく働き、よく遊ぶ」は、私が市長就任時に職員の皆さんにお示した「仕事をする上での8つの心得」の8項目にあったものですが、そこには、『仕事も一生懸命。プライベートも一生懸命。仕事とプライベートのバランスを取って充実した生活を送る。』と記載しています。

当然ながら、よく働いた上でよく遊ぶということで、遊びが先ではありませんが、私は遊びの中にも仕事のヒントや重要な意味合いがあると思っています。例えば、職場の懇親会。今はコロナ禍でなかなか開催できませんが、懇親会で同僚の人柄・考え方を知ること Alternatively、職場とは違って腹を割って話すことができ、人間関係が深まるということもあるでしょう。フィロソフィの生みの親である京セラの稲盛和夫さんは、主催されていた盛和塾という勉強会の後は、必ず参加者とコンパと称して飲み会を開催し、車座になってひざ詰めで参加者と様々なことを議論して人間関係の構築をされていたそうです。

皆さんご承知のように、仕事をする上で重要な要素の一つは人間関係です。仕事上の悩みにおいて一番多いのは、おそらく仕事の中身よりも職場の人間関係ではないでしょうか。我々は決して一人では仕事はできません。あなたの頑張りは大前提ですが、組織において、あなたを引き上げてくれるのは、頑張っているあなたを見ている周りの人々です。当然、市長である私も感情を持った人間です。そういう意味でも、人間関係は極めて重要であり、その人間関係の潤滑油としての遊び的要素も、あながち捨てたものじゃないし、結構重要な意味があると思いますよ。